

支部の たまり場 紹介

大仙西支部センター「ゆんたく」

6月オープン、 みんなの抛り所として



にぎやかに開所式（6月1日）

大仙西支部では、6月1日にセンター「ゆんたく」を開設することができました。様々な制約がある中で諸団体の協力で、活動の拠点を持つことができました。

「ゆんたく」では朝はモーニング、お昼は定食を出していて、毎日30〜40人の方が来られ、皆さんから喜ばれています。皆さんに気軽に来ていただけるよう



う様々な取り組みも行う予定です。

地域の人の交流の場として、抛り所として、また運動の拠点・センターとなることを目指して頑張ります。

原水爆禁止世界大会に寄せて

千羽鶴に思いを込め

上野芝向ヶ丘町 矢羽田サヨ子

今から60年前、私は中学校の修学旅行で広島市の原爆ドームを訪れたことがあります。その時、ドームの前で被爆者の話を聞きました。顔はきれいでしたが、服をぬぎ、後ろ全体を見せ

てくれました。やけどの痕の皮の引きつれた体に思わず、皆アツと声を出すなどびくっりました。説明をきいておちつき、皆泣き出してしまいました。こんな、ひどい目にあっている人達がいっぱいとは、当時知り

ませんでした。あれから私達は、平和にくらしている現在、あの被爆者の人達のことを忘れることはできません。私も生きてるうちに、千羽鶴を折って一度広島の地を訪れたいとずっと思っていました。若い頃は忙しくてこれからは、病にかかっている体じゃ訪問することはか



思いを託した千羽鶴

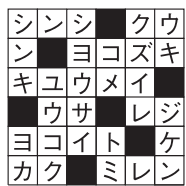
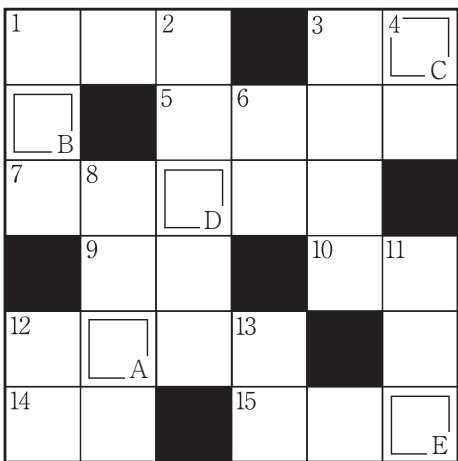
ないません。

千羽鶴をもって広島へ行かれると聞いて私も参加させていたたく思いました。一羽一羽折ってみました。抗がん剤で手先はしびれていますが、あまりうまく折れません。この千羽鶴と私の気持ちをどうぞ皆様といっしょに、広島へとどけてくださいませ、お願い致します。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入の上、
●あて先／〒5990-0824 堺市堺区老松町2丁58-1
友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●しめきり／2016年9月14日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何？



●6月号の答「ミスヨウカン(水ようかん)」
●応募数/83通

タテのキー

- ①触る。――の差
- ②UVカットのUV
- ③自伝。――を書く

- ④〇〇の悪い言葉
- ⑤なくし〇〇
- ⑥健康な時の体温
- ⑦同業――に負けない技術力
- ⑧手塚治虫の「リボンの線」
- ⑨魚籠。何と読む

ヨコのキー

- ①少年よ――を抱け
- ②自分と他人
- ③絵を――に入れて飾る
- ④海や平原が空と接する線
- ⑤〇〇えび、〇〇参り
- ⑥ご馳走に〇〇なめずり
- ⑦6月10日は時の――
- ⑧〇〇より量?
- ⑨厨房、台所

俳句

住吉の 紙に賜る 扇かな
くちなしの 花の匂へる 歩道橋

前田 夏子(和泉市光明台)
前田 夏子(和泉市光明台)

川柳

耳原で 手術し命 助けられ
健康で 老後楽しく 長生き
増税を 何回にするかで 内輪もめ

緒方 和人(西区浜寺元町)
緒方 和人(西区浜寺元町)
安東 利彦(西区上野芝町)

*句を詠む時の情景や思いをお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2016年9月14日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん 紹介 ⑰

向ヶ丘支部
たじま あつこさん
田嶋 修子さん



田嶋さんは愛媛県の宇和島で、昭和23年に生まれ、そこで育ちました。3人兄弟の2番目。父は中学校の先生で、家には男の子がよく遊びに来ていたそうです。

男の子の中で育ったので、性格はさっぱりで「もじもじ」は嫌いです。無口ですが「おてんば」だったそうです。高校は愛媛で短大は東京でした。帰省中に夫と宇高連絡船で知り合い、卒業の1年後に結婚しました。

初めは大阪市内で、その後夫の実家のある堺に引っ越しをしました。姑に働くようにと言われ、26歳から

61歳まで働きました。友の会とは、支部結成の時に誘われ今に至っています。今は週3回たまり場を開けています。

小物作りは女性がほとんどですが、93歳の男性が健康のためだと言って元気に「おしゃべり」きています。92歳の女性は毎月自分で紙芝居をつくり披露。ペンケースをマイクにシャンソンを独唱する方がいて、ひとときミニコンサート。童謡・演歌などをみんなで合唱。プロのカメラマンがいたり、たまり場ならではの楽しいひととき。みんなが元気になって帰っていく。これはいくらですかね。

今期は代表世話人を引き受けていただきました。世話人をするまでは無口だったとほかって思えませんが、本人はしきりに言っておられます。今日は、たまり場で使うコースター作りにみんな励んでいます。たまり場を明るく元気にさせてくれる方です。そして健康寿命を延ばしてくれるたまり場に、なりつつあります。(文・写真 事務局)

編集後記

急遽、編集担当をすることなり、右も左もわからないまま引継ぎ、きちんと出来ているか非常に不安です。しかし皆さんからの便りを拝見すると、「こも」を非常に楽しみに待っておられるのが良くわかり、と

ても重要なものであることを改めて強く感じました。記事も寄せていただいた皆様にも感謝しきりです。友の会の会員の皆さんの大事な情報として、皆さんの協力をいただきながら「こも」をしっかり作り上げていきたいと考えています。(奥村)